

マルチクライアント方式

調査企画書

*2024年版 [トナーマーケット総覧] *

『業界再編に向けて
動き出すトナー業界の
総合分析』

=トナー、レジン、その他材料の最新トレンド=

2024年5月



日・中・米・欧の市場調査
株式会社 データ・サプライ

〈調査概要〉

I. 調査テーマ

*2024年版 [トナーマーケット総覧] *

『業界再編に向けて動き出すトナー業界の総合分析』

= トナー、レジン、その他材料の最新トレンド =

II. 調査主旨

2020年以降、主要各社の先進国オフィスにおけるプリントボリューム（PV）はコロナ禍前との比較で80～85%の水準にとどまっており、コロナ禍前の水準に回復することはもはや難しくなりました。それどころかペーパーレス化やDXが次の段階に進むことでPVの減少スピードはさらに加速する可能性もあり、トナーメーカー各社は純正品市場、サードパーティ市場ともに引き続き低成長を前提とした事業戦略を採っていかざるを得ない状況となっている。

市場全体が成熟していく中で、業界再編の動きも顕在化してきた。リコーと東芝テックはオフィス向け複合機の開発・生産機能を統合する新会社「ETRIA（エトリア）」を2024年7月に発足させる。また、富士フイルムビジネスイノベーションとコニカミノルタは、複合機・オフィス向けプリンタ・プロダクションプリンタ事業での業務提携に向けた協議を開始し、原材料や部材の調達部門の統合と、トナーの開発や生産に関わる業務提携を進めていく見通しとなった。このように日本メーカー間の再編が進み始めた背景には、このまま日本メーカー間で争っている中国メーカーに市場を奪われてしまうという危機感がある。また、需要が先細るなかで、生産規模の小さいメーカーが自前で開発・生産を続けることはリスクになり得るという経営的な視点もあるだろう。実際、トナーの生産量が減少するなかで、各社が環境・安全面など様々な課題にそれぞれ対応していくことは重い負担としてのしかかってきている。またサプライチェーンリスクへの対応という意味でもメーカー間が提携する機運はこれまでになく高まってきたと言えるだろう。

今回のレポートでは業界再編に向けて動き出したトナー業界を徹底分析していく予定です。再編後の業界地図はどうか、レジン、キャリアなどトナー原材料への影響など専門的・客観的見地から調査・分析を進めていきます。今回のレポートが業界関係者にとって今後の戦略立案の一助となれば幸いです。

Ⅲ. 調査対象品目

1. 調査対象品目
 - 1) トナー
 - (1) 粉砕トナー (カラー、モノクロ) (2) ケミカルトナー (カラー、モノクロ)
 - 2) トナー用レジン
 - (1) ポリエステル系レジン (2) スチレン-アクリル系レジン (3) その他
 - 3) キャリア 4) 磁性粉 5) 荷電制御剤 (CCA) 6) カラートナー用色材
 - 7) 外添剤 8) カーボンブラック 9) トナー用WAX 10) その他関連品目
2. 調査対象先
 - 1) 主要メーカー
トナーメーカー [69社] / トナー用レジンメーカー [18社] /
キャリアメーカー [4社] / 磁性粉メーカー [5社] / CCAメーカー [8社] /
色材メーカー [8社] / 外添剤メーカー [14社] / カーボンブラックメーカー
[3社] / WAXメーカー [8社]
 - 2) その他関連メーカー

Ⅳ. 調査範囲及び調査方法

1. 調査範囲
調査対象範囲は2022年～2028年とする。
2. 調査方法
 - (1) 取材対象メーカー及び関連メーカーへの直接訪問面接調査。
 - (2) 公開されている文献、資料、統計等の分析及び調査。
 - (3) 弊社に蓄積されているデータの活用。

Ⅴ. 調査形態、調査期間、他

1. 調査形態
本調査はマルチクライアント方式による調査である。
2. 調査期間
2024年5月～6月中旬
3. 刊行予定日
2024年6月27日 (2023年版は587頁)
4. 報告書フォーマット
PDF ※製本版は別途費用をいただきます。
5. 1社あたりの参加費用
600,000円 (消費税別途) / 英語版: \$6,000-
刊行前のお申込は、**10%割引**の540,000円 (消費税別途) でご提供いたします。
その際は原則として**申込時に半金、報告書納入時に残金**のご請求をさせていただきます。
刊行後のお申込みは上記定価の600,000円 (消費税別途) をご請求させていただきます。
日本語版+英語版 (セット価格) : 700,000円 (消費税別途)
6. 申込方法
最終頁の申込書に必要事項を明記の上、担当宛にお送り下さい。
7. 調査担当 山本 幸男、吉田 晃介、針生 正史
TEL:03-3831-9201、FAX:03-3831-9204
e-mail:yamamoto@datasupply.jp、yoshida@datasupply.jp、hariu@datasupply.jp

VI. 調査項目

A. 分析編

1. 全世界でのトナー生産動向

- 1) 日本／海外メーカー別生産量／生産金額推移（2022年～2028年）
- 2) モノクロ／カラートナー別生産量／生産金額推移（2022年～2028年）
- 3) 用途別成分別生産量全体推移（2022年～2028年）
- 4) オフィス向け／プロ向けのトナー生産量内訳（2023年）
- 5) 製造方法別種別生産量推移（2022年～2028年）
- 6) OEMとサードパーティ向けのトナー生産量（2021年～2023年）
- 7) メーカーシェアの推移（2021年～2023年）
- 8) 業界再編後のシェア推定（再編前／再編後）
- 9) 生産地域別全体生産量推移（2022年～2028年）
- 10) 成分別メーカー別全体生産動向（2022年～2028年）
- 11) 色別メーカー別全体生産動向（2022年～2028年）
- 12) 機器別メーカー別全体生産動向（2022年～2028年）
- 13) ケミカルトナーのメーカー別生産動向（2022年～2028年）
- 14) 環境配慮製品（再生樹脂、バイオマス原料、低温定着、PFAS対応、他）の開発動向
- 15) 付加価値トナーの用途と販売量

2. 地域別生産動向の現状と変化

北米／欧州／アジア（中国、韓国、台湾、インド、マレーシア、他）・日本

3. ハードメーカーとトナーメーカーの主要供給関係の現状と変化

- 1) モノクロMFP（複写機・複合機）
- 2) カラーMFP（複写機・複合機）
- 3) モノクロプリンタ・MFP
- 4) カラープリンタ・MFP
- 5) モノクロPP
- 6) カラーPP

4. 関連材料市場動向

4-1. レジン市場の変遷

粉砕トナー・ケミカルトナー用レジンの生産量・生産金額の推移

4-2. キャリア市場の変遷

キャリアの生産量・生産金額の推移／2成分トナーのモノクロ・カラートナーの生産量推移

4-3. 磁性粉市場の変遷

磁性粉の生産量・生産金額／磁性1成分の生産量推移

4-4. 荷電制御剤（CCA）市場の変遷

生産量・生産金額の推移／今後の方向性

4-5. 色材市場の変遷

生産量・生産金額の推移／フルカラートナーの生産量推移

4-6. 外添剤市場の変遷

生産量・生産金額の推移／今後の方向性

4-7. カーボンブラック市場の変遷

生産量・生産金額の推移／今後の方向性

4-8. ワックス市場の変遷

生産量・生産金額の推移／今後の方向性

B. トナー市場編

B-1. 日本メーカー

1. 生産動向

- 1) 用途別成分別生産量推移（2022年～2028年）
- 2) 製造方法別種別生産量推移（2022年～2028年）
- 3) トナー全体の生産量と生産金額（2023年）
- 4) メーカー別生産量全体推移（2022年～2028年）
- 5) モノクロ／フルカラートナーのメーカー別生産量推移（2022年～2028年）
- 6) トナー製法別のメーカー別生産量推移（2022年～2028年）
 - (1) 粉砕トナー（モノクロ／カラー）
 - (2) ケミカルトナー（モノクロ／カラー）

- 7) トナー成分別のメーカー別生産量推移 (2022年～2028年)
 - (1) 磁性1成分 (モノクロトナー)
 - (2) 2成分 (モノクロトナー+カラートナー)
 - (3) 非磁性1成分 (モノクロトナー+カラートナー)
- 8) メーカー別レジンの種類別トナー生産量動向 (2023年)
- 9) ハードメーカーへのトナーメーカーの納入量変化及びハードメーカーの内製率 (2023年実績)

2. 国内外生産拠点概要

工場名/住所/電話番号

3. メーカーの個別動向 (2022年～2028年)

《各メーカーに共通》

生産量/生産金額の推移 (モノクロトナー/カラートナー別) /用途別・成分別生産量推移 (国内生産分/海外生産分) /地域別海外生産の内訳/工場別生産内訳/製造方法別種類別生産量/製造方法別のトナー生産量と生産金額/トナーの技術開発動向 (ケミカルトナー/粉碎トナー) /環境配慮製品 (再生樹脂、バイオマス原料、低温定着、PFAS 対応、他) の開発動向/付加価値トナー (金・銀・白・クリア・蛍光) の開発動向/成分別・種類別生産量と種類別レジンの購入量/色別粒径別生産量/オフィス向け/プロ向けの生産量・生産金額内訳/供給先別生産量推移 (主要供給先別生産量、OEMとサードパーティ向け生産量) /生産拠点動向/開発拠点/設備投資及び研究開発費の動向/会社概要

- 1) キヤノン 2) リコー 3) 富士フイルムビジネスイノベーション 4) コニカミノルタ
- 5) 京セラドキュメントソリューションズ 6) シャープ 7) 東芝テック 8) 巴川コーポレーション
- 9) 三菱ケミカル 10) 花王 11) FDK 12) サカタインクス 13) アイメックス
- 14) 日本ゼオン 15) 三笠産業 16) その他メーカー(5社)

B-2. 海外メーカー

1. 生産動向

- 1) 用途別成分別生産量推移 2) メーカー別生産量全体推移 3) モノクロ/フルカラートナーのメーカー別成分別生産量推移 4) オフィス向け/プロ向け生産量の内訳
- 5) OEM量とサードパーティ量 6) 各社の特徴

2. 海外メーカーの個別動向

用途別成分別色別生産量推移/トナーの最新動向/ケミカルトナーの生産量

地域	国名	トナーメーカー
北米	アメリカ	Hunt Imaging、Kodak、Lexmark International、Raven Industries、Troy Group、Xerox Corporation
欧州	アイルランド	Xerox Europe
	ドイツ	Integral
	ロシア	Ros Toner
	ベルギー	Xeikon
	トルコ	IPM(Imaging Products Manufacturing)
アジア	韓国	Cosmo AM&T、Lotte Fine Chemical、Union Chemical
	台湾	Royal Precision Technology、Trend Tone Imaging

中 国	Cangzhou ASC Toner Production、Cangzhou HuiBao Toner Production、CET Group、Excellent Color Technology(HuBei)、Fujian Meihong Technology、Ganzhou Ninevalley Technology、Guangdong VIVID Print Material、Gangzhou Ninealley Technology、Guangzhou Auking Digital Technology Enterprise、Guangzhou Cetron Office Equipment、Guangzhou Shuangyi Sci-technology、Guizhou Brothers Union Technology、Handan Hanguang OA Toner、Hubei Dinglong、Hubei East Toner New Materials、Hubei Sincore Toner Digital Technology、Huion Toner Industrial、HYB TONER、ICMI China、Meishan JSY Technology Material、Nanjing Teshine Imaging Technologies、Real Color Corporation、Tianjin Synthetic Material Research Institute、Tianjin Zhonghuan TCOA Electronics、Wuhan Pointrole Information Technology、Wuhan Zongxiang Imaging、Wuxi Jiateng Magnetic Powder、Wuxi Meiling Digital Science and Technology、Xinyin Kaier New Material、Yvian Technology (Zhuhai)、Zhongshan Rainmiu Office Technology、Zhuhai Guocai Technology、湖北亿隆新材料科技有限公司
マレーシア	Jadi Imaging Technologies Sdn Bhd
インド	Indian Toners and Developers、Pure Toners&Developers
イラン	Naghsh Ayandegan Abyaneh

3. 海外メーカーの生産拠点一覧

- 1) 北米南米地域 2) 欧州地域 3) アジア地域

C. レジン市場編

1. 全世界でのレジン生産動向

- 1) 日本／海外メーカー別生産量推移（2022年～2028年） 2) 今後の動向

2. 日本メーカーの生産動向

- 1) 地域別種類別生産量／生産金額推移（2022年～2028年）
 2) メーカー別生産量動向（2022年～2028年）
 (1) 全体 (2) スチレン-アクリル系
 (3) ポリエステル系（粉砕トナー用、ケミカルトナー用） (4) 結晶性ポリエステル
 (5) その他
 3) 種類別地域別生産量動向（2022年～2028年）
 (1) スチレン-アクリル系 (2) ポリエステル系 (3) その他
 4) トナーメーカーへのレジンメーカーの供給量一覧（2023年実績）
 ※国内外別供給量の実態
 (1) スチレン-アクリル系 (2) ポリエステル系 (3) その他
 5) ケミカルメーカーへの対応
 6) 低温定着トナーへの対応
 7) レジンメーカーの生産拠点概要
 (1) 国内生産拠点一覧 (2) 海外生産拠点概要
 8) 設備投資及び研究開発費の動向

3. メーカーの個別動向

《各メーカーに共通》

地域別種類別生産量・生産金額推移／トナーメーカーへのレジン種類別国内外別納入量／OEM量とサードパーティ量／ケミカルトナーへの対応／生産拠点（国内・海外）／開発動向／設備投資及び研究開発費の動向／会社概要

- 1) 三洋化成工業 2) 藤倉化成 3) 三井化学 4) 三菱ケミカル 5) DIC 6) 花王 7) 星光
 PMC 8) その他メーカー（11社／韓国1社・中国8社／マレーシア1社／インド1社）

D. 関連材料市場編

1. キャリア市場

- 1) メーカー別生産量、生産金額（2022年～2028年）
 2) 種類別メーカー別生産量推移（2022年～2028年）
 (1) 鉄粉キャリア (2) フェライトキャリア (3) マグネタイトキャリア
 (4) 樹脂キャリア
 3) 用途別種類別生産量、生産金額推移（2022年～2028年）
 4) 種類別粒径別生産量推移（2022年～2028年）
 (1) 50 μ m未満 (2) 50～80 μ m (3) 80～100 μ m (4) 100 μ m以上
 5) コーティング材料別及びノンコーティング別生産量推移（2022年～2028年）
 6) キャリアメーカー別材料別主要納入状況一覧（2023年実績）
 7) 市場及び技術動向
 8) メーカー別生産拠点一覧
 9) 個別メーカー動向

《各メーカーに共通》

用途別種類別生産量・生産金額／種類別粒径別生産量／コーティング材料別生産量／環境対応・小粒径化／OEM量とサードパーティ量／環境対応型キャリア／種類別キャリアの主要納入先／生産拠点／設備投資及び研究開発費の動向／会社概要

- (1) パウダーテック (2) 関東電化工業 (3) DOWA エレクトロニクス (4) 戸田工業

2. 磁性粉市場

- 1) メーカー別生産量推移 (2022年～2028年)
生産動向とシェア
- 2) メーカー別納入金額推移 (2022年～2028年)
- 3) メーカー別主要納入状況 (2023年実績)
- 4) メーカー別生産拠点一覧
- 5) 個別メーカー動向 (2022年～2028年)

《各メーカーに共通》

生産量／納入金額／OEM量とサードパーティ量／納入先／生産拠点／設備投資及び研究開発費の動向／会社概要

- (1) 戸田工業 (2) チタン工業 (3) 関東電化工業 (4) 海外メーカー

3. 荷電制御剤 (CCA) 市場

- 1) 種類別メーカー別生産量、生産金額推移 (2022年～2028年)
 - ①正帯電 (ニグロシン系、無色系／白色系、樹脂系) ・負帯電 (有色系、無色系／白色系、樹脂系) 別生産動向
 - ②生産拠点
 - ③シェア
- 2) 最新技術動向
 - (1) カラー対応 (2) 環境対応
- 3) 価格動向
- 4) 荷電制御剤メーカーの主要納入先一覧 (2023年実績)
- 5) メーカー生産拠点一覧
- 6) 個別メーカー動向 (2022年～2028年)

《各メーカーに共通》

種類別生産量・生産金額／カラー対応／価格／OEM量とサードパーティ量／主要納入先／生産拠点／設備投資及び研究開発費の動向／会社概要

- (1) オリエン特化学工業 (2) 保土谷化学工業 (3) クラリアント
(4) 藤倉化成 (CCR=荷電制御レジン) (5) 日本カーリット (6) 中央合成化学
(7) Hubei Dinglong (8) Wuhan Xinxiang Consumable Manufacture

4. カラートナー用色材 (Y.M.C) 市場

- 1) 色別生産量、生産金額推移 (2022年～2028年)
 - ①国内外の生産動向
 - ②生産拠点
 - ③シェア
- 2) 色材の最新動向と価格動向
- 3) 添加量
- 4) メーカー別種類別生産動向推移 (2022年～2028年)
- 5) 粉砕トナーとケミカルトナー向け納入量
- 6) メーカー別納入先一覧 (2023年実績)
- 7) 個別メーカー動向

《各メーカーに共通》

色別生産量・生産金額／主要製品と価格／OEM量とサードパーティ量／主要納入先／生産拠点／設備投資及び研究開発費の動向／会社概要

- (1) 大日精化工業 (2) DIC (3) クラリアント (4) トーヨーカラー
(5) 山陽色素 (6) その他 (BASF／富士色素／東京色材工業／大同化成工業)

5. 外添剤（シリカ、酸化チタン、有機微粒子、他）市場

- 1) 種類別生産量、生産金額推移（2022年～2028年）
- 2) トナーの種類別外添剤の動向
- 3) メーカー別特性
- 4) 主要製品と価格
- 5) メーカー別種類別生産動向推移（2022年～2028年）
- 6) メーカー別納入先一覧
- 7) 新規メーカー動向
- 8) 主要メーカー動向

《各メーカーに共通》

種類別生産量・生産金額／OEM量とサードパーティ量／欧州環境規制への対応／添加量／使用目的／納入先／生産拠点／設備投資及び研究開発費の動向／会社概要

- (1) エボニック (2) キャボット (3) ワッカー (4) チタン工業
- (5) テイカ (6) トクヤマ (7) 信越化学工業 (8) その他 (7社／日本6社／韓国1社)

6. カーボンブラック市場

- 1) 生産量、生産金額推移（2022年～2028年）
 - ①粉砕・ケミカルトナー別生産動向 ②生産拠点 ③シェア
- 2) 製品特性
- 3) 添加量
- 4) メーカー動向
 - (1) 三菱ケミカル (2) キャボット (3) オリオンエンジニアドカーボنز
- 5) 開発動向と設備投資及び研究開発費

7. トナー用WAX市場

- 1) 生産量、生産金額推移（2022年～2028年）
 - ①生産動向 ②生産拠点
- 2) WAXの種類

ポリプロピレン／ポリエチレン／パラフィン／エステル／カルナバ
- 3) 種類別融点
- 4) 種類別価格
- 5) ケミカルトナーへの対応
- 6) 設備投資及び研究開発費の動向
- 7) メーカー動向
 - (1) 三洋化成工業 (2) 三井化学 (3) 日本精蠟 (4) NuCera (トーヨーケム)
 - (5) クラリアント (6) 日油 (7) 他

E. 電子写真ハードのトナー成分別機種一覧（2020年～）

1. MFPのトナー成分別主要機種一覧

2. レーザー／LEDプリンタのトナー成分別主要機種一覧

3. プロダクションプリンタのトナー成分別主要機種一覧

< サンプルページ 1 >

※実際のレポートには、数字やコメントがあります。

< 分析編 >

4) 製造方法別種類別生産量推移 (2021年～2027年)

年		2021年		2022年		2023年(見込)		2024年(予測)		2025年(予測)		2026年(予測)		2027年(予測)		
		%		%		%		%		%		%		%		
粉砕けー	2成分	モノクロ														
		カラー														
		計														
	非磁性1成分	モノクロ														
		カラー														
		計														
	磁性1成分	モノクロ														
		モノクロ														
		カラー														
	合計															
	対前年比(%)															
ケミカルけー	2成分	モノクロ														
		カラー														
		計														
	非磁性1成分	モノクロ														
		カラー														
		計														
	磁性1成分	モノクロ														
		モノクロ														
		カラー														
	合計															
	対前年比(%)															

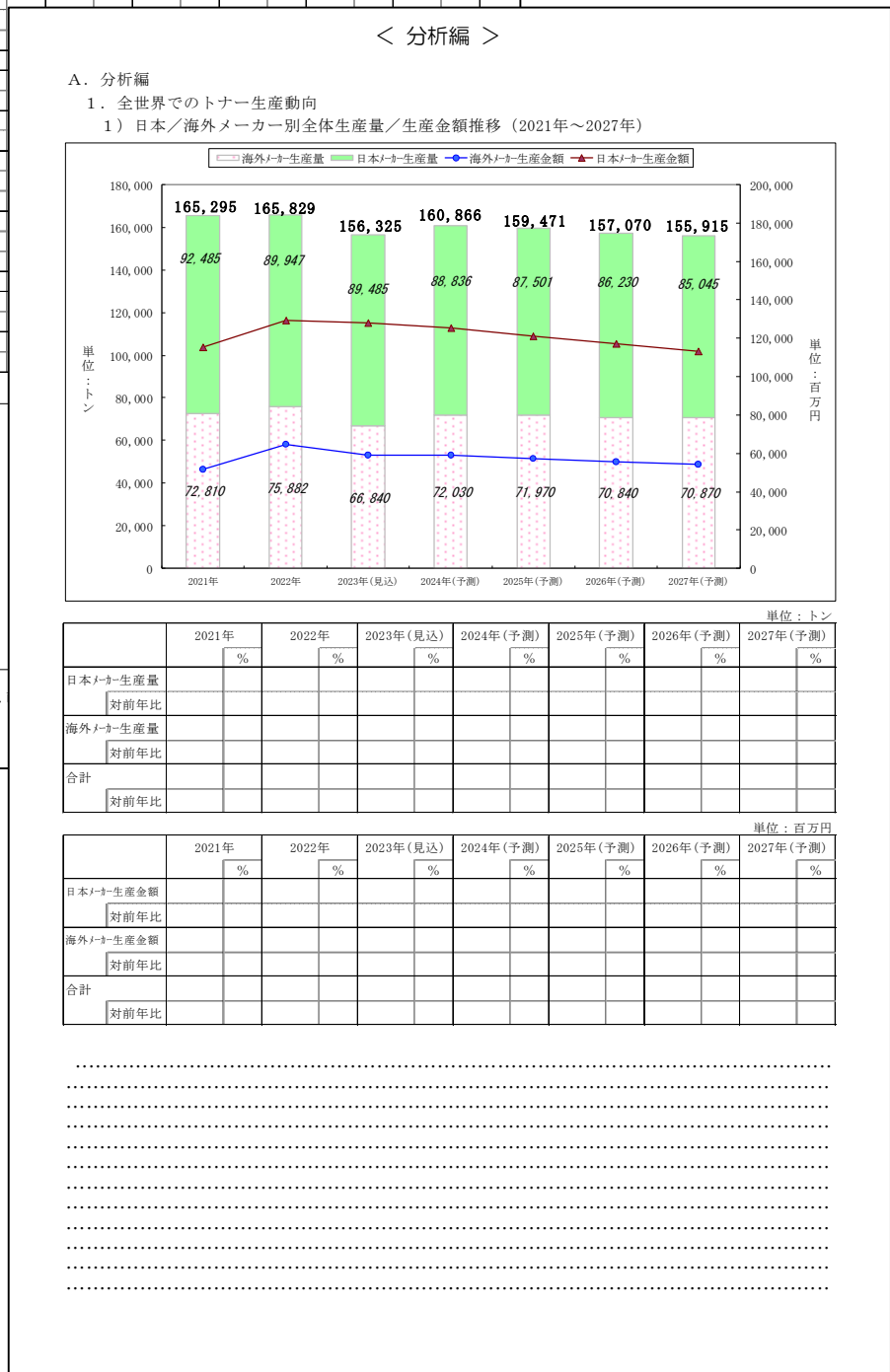
年		2021年		2022年		2023年(見込)		2024年(予測)		2025年(予測)		2026年(予測)		2027年(予測)		
		%		%		%		%		%		%		%		
合計	2成分	モノクロ														
		カラー														
		計														
	非磁性1成分	モノクロ														
		カラー														
		計														
	磁性1成分	モノクロ														
		モノクロ														
		カラー														
	合計															
	対前年比(%)															

2022年における粉砕トナー/ケミカルトナー別生産量は、2023年以降も両者の比率に大きな変化はない。

2022年

ケミカルトナー 51,780 31.2%

粉砕トナー 114,049 68.8%



< サンプルページ 2 >

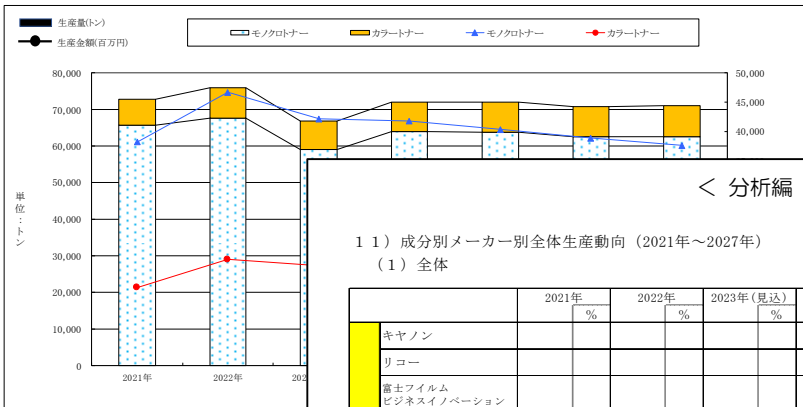
※実際のレポートには、数字やコメントがあります。

< トナー市場編 >

B-2. 海外メーカーの個別生産動向 (2021年~2027年)

1. 全体状況
1) モノクロトナー・カラートナー別生産量/生産金額の推移 (2021年~2027年)

年	2021年		2022年		2023年(見込)		2024年(予測)		2025年(予測)		2026年(予測)		2027年(予測)		
	生産量(トン)	%	生産量(トン)	%	生産量(トン)	%	生産量(トン)	%	生産量(トン)	%	生産量(トン)	%	生産量(トン)	%	
生産量(トン)	モノクロトナー	65,580	90.1	67,577	89.1	59,100	88.4	63,905	88.7	63,700	88.5	62,565	88.3	62,590	88.3
	カラートナー	7,230	9.9	8,305	10.9	7,740	11.6	8,125	11.3	8,270	11.5	8,275	11.7	8,280	11.7
	対前年比	-	-	104.2	-	88.1	-	107.8	-	99.9	-	98.4	-	100.0	-
	モノクロトナー	72,810	100.0	75,882	100.0	66,840	100.0	72,030	100.0	71,970	100.0	70,840	100.0	70,870	100.0
生産金額(百万円)	モノクロトナー	38,200	74.1	46,715	72.1	42,095	71.2	41,768	70.9	40,353	70.3	38,808	69.8	37,663	69.5
	カラートナー	13,365	25.9	18,115	27.9	16,995	28.8	17,180	29.1	17,066	29.7	16,816	30.2	16,562	30.5
	対前年比	-	-	125.7	-	91.1	-	99.8	-	97.4	-	96.9	-	97.5	-
	モノクロトナー	51,565	100.0	64,830	100.0	59,090	100.0	58,948	100.0	57,419	100.0	55,624	100.0	54,225	100.0



< 分析編 >

1) 成分別メーカー別全体生産動向 (2021年~2027年)
(1) 全体

メーカー	2021年		2022年		2023年(見込)		2024年(予測)		2025年(予測)		2026年(予測)		2027年(予測)	
	生産量(トン)	%	生産量(トン)	%	生産量(トン)	%	生産量(トン)	%	生産量(トン)	%	生産量(トン)	%	生産量(トン)	%
キヤノン														
リコー														
富士フイルム ビジネスインベーション														
コニカミノルタ														
京セラドキュメント ソリューションズ														
シャープ														
東芝テック														
巴川製紙所														
三菱ケミカル														
花王														
F D K														
サカタインクス														
アイメックス														
日本ゼオン														
三笠産業														
日本メーカー合計														
対前年比														
北米														
Kodak														
Lexmark														
Xerox														
欧州														
Xeikon														
韓国														
Cosmo AM & T														
Lotte Fine Chemical														
台湾														
Trend Tone Imaging														
中国														
CET Group														
Excellent Color Technology														
Guangzhou VIVID Print Material														
Handan Hanguang OA Toner														
Hubei Daiglong														
Nanjing Teshine Imaging														
Tianjin Synthetic Material														
インド														
Indian Toners & Developers														
その他														
Jadi Imaging Technologies														
海外メーカー合計														
対前年比														
合計														
対前年比														

< サンプルページ 3 >

※実際のレポートには、数字やコメントがあります。

< キャリア市場編 >

3) 種類別メーカー別生産量推移 (2021年～2027年)

(1) 鉄粉キャリア

単位:トン

	2021年	2022年	2023年(見込)	2024年(予測)	2025年(予測)	2026年(予測)	2027年(予測)
	%	%	%	%	%	%	%
パウダーテック							
対前年比							
関東電化工業							
対前年比							
DOWAエレクトロニクス							
対前年比							
合計							
対前年比							

(2) フェライトキャリア

単位:トン

	2021年	2022年	2023年(見込)	2024年(予測)	2025年(予測)	2026年(予測)	2027年(予測)
	%	%	%	%	%	%	%
パウダーテック							
対前年比							
関東電化工業							
対前年比							
DOWAエレクトロニクス							
対前年比							
合計							
対前年比							

< レジン市場編 >

3) メーカー別生産動向 (2021年～2027年)

(1) 全体

単位:トン

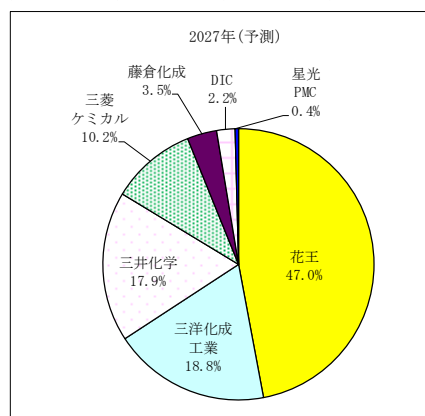
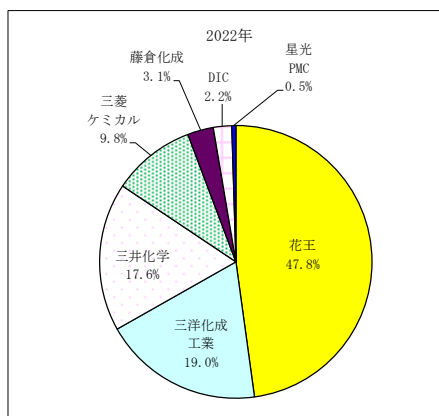
	2021年	2022年	2023年(見込)	2024年(予測)	2025年(予測)	2026年(予測)	2027年(予測)
	%	%	%	%	%	%	%
三洋化成工業							
対前年比							
藤倉化成							
対前年比							
三井化学							
対前年比							
三菱ケミカル							
対前年比							
DIC							
対前年比							
花王							
対前年比							
星光PMC							
対前年比							
合計							
対前年比							

(3) マグネタイトキャリア

	2021年
	%
パウダーテック	
対前年比	
関東電化工業	
対前年比	
DOWAエレクトロニクス	
対前年比	
合計	
対前年比	

(4) 樹脂キャリア

	2021年
	%
戸田工業	
対前年比	



< サンプルページ 4 >

※実際のレポートには、数字やコメントがあります。

< カーボンブラック市場編 >

6. カーボンブラック市場
1) カーボンブラックの生産量/生産金額の推移 (2021年~2027年)

	2021年	2022年	2023年(見込)	2024年(予測)	2025年(予測)	2026年(予測)	2027年(予測)
粉砕用							
ケミカル用							
合計							
対前年比							

< 外添剤市場編 >

8) メーカー別種類別生産動向推移 (2021年~2027年)
(1) 生産量

	2021年		2022年		2023年(見込)		2024年(予測)		2025年(予測)		2026年(予測)		2027年(予測)	
		%		%		%		%		%		%		%
エポニック														
キヤボット														
信越化学工業														
トクヤマ														
フッカー														
シラカ														
エポニック														
キヤボット														
チタン工業														
アイカ														

< 色材市場編 >

2) カーボンブラックの
(3) 色材メーカーの供給関係

	大日精化工業	ホイバツハ	山陽色素	トーヨーカラー	D I C	B A S F	富士色素	東京色材工業	大同化成
キヤノン									
リコー									
富士フイルム									
ビジネスインベーション									
コニカミノルタ									
京セラドキュメントソリューションズ									
シャープ									
東芝テック									
巴川製紙所									
三菱ケミカル									
花王									
F D K									
日本ゼオン									
サカタインクス									
アイメックス									
コダック									
(株)ゼロックス									
ロッテ精密化学(元オムロン電子)									
その他									

< CCA 市場編 >

3. 荷電制御剤 (CCA) 市場
1) 種類別生産動向推移 (2021年~2027年)

① 生産量

	2021年		2022年		2023年(見込)		2024年(予測)		2025年(予測)		2026年(予測)		2027年(予測)	
		%		%		%		%		%		%		%
正帯電	ニグロシン系													
	無色系/白色系													
	樹脂系													
計														
対前年比														
負帯電	有色系													
	無色系/白色系													
	樹脂系													
計														
対前年比														
合計														
対前年比														

② 生産金額

	2021年		2022年		2023年(見込)		2024年(予測)		2025年(予測)		2026年(予測)		2027年(予測)	
		%		%		%		%		%		%		%
正帯電	ニグロシン系													
	無色系/白色系													
	樹脂系													
計														
対前年比														
負帯電	有色系													
	無色系/白色系													
	樹脂系													
計														
対前年比														
合計														
対前年比														

* トナーの過去の刊行リスト *

1. 1986年 8月 「'86 トナー及び関連機器市場の総合分析と技術動向」
2. 1989年 1月 「'89 拡大するトナー及び応用機器市場の将来性分析」
3. 1991年 4月 「'91 トナーと関連材料及び応用機器市場の総合分析」
4. 1992年 9月 「'92 ファイン化が進むトナーの用途別将来展望」
5. 1993年 8月 「'93 世界初の重合トナー上市で活性化するトナー業界の展望」
6. 1994年 10月 「多様化するトナーの成分別市場と将来性分析」
7. 1995年 11月 「高画質化する電子写真のトナー市場と需要動向分析」
8. 1996年 11月 「重合フルカラートナーで揺れるトナー及び関連業界の最新動向」
9. 1997年 9月 「電子写真の高画質化・カラー化を担うトナー及び関連業界の将来展望」
10. 1998年 12月 「重合フルカラートナーが牽引する電子写真の高画質化とトナー業界の将来動向」
11. 1999年 12月 「分岐点にさしかかったトナー業界の現状と将来動向」
12. 2001年 1月 「重合トナーで変容するトナー業界の将来展望」
13. 2002年 4月 「重合トナーが加速するトナー市場の構造変化」
14. 2003年 5月 「重合トナーの増産が続くトナー業界の変化と将来動向」
15. 2004年 5月 「ケミカルトナーがもたらすトナー業界の最新動向」
16. 2005年 8月 「ケミカルトナーの活発化で変化するトナー及び関連材料市場の将来動向」
17. 2006年 8月 「大手メーカーの撤退で揺れ動くトナー及関連業界の将来性」
18. 2007年 8月 「高速及びPOD分野を切り開くトナーと関連材料市場の将来展望」
19. 2008年 8月 「新ケミカルトナーの登場で変容するトナー関連市場の構造分析」
20. 2009年 8月 「大手ケミカルトナーメーカーの登場で揺れるトナー関連市場の分析」
21. 2010年 8月 「専門メーカーの撤退が続くトナー関連市場の総合分析」
22. 2011年 8月 「震災被害を乗り越えたトナー業界の長期展望」
23. 2012年 8月 「低成長市場にいどむトナー業界の戦略」
24. 2013年 8月 「新興国市場拡大に期待するトナー業界のゆくえ」
25. 2014年 8月 「超小粒径トナーが切り拓くトナー業界の展望」
26. 2015年 8月 「付加価値トナーで市場に刺激を与えるトナー業界」
27. 2016年 8月 「高耐刷高画質を求め続けるトナー業界の展望」
28. 2017年 8月 「コスト競争力が市場を立て直すトナー業界の未来図」
29. 2018年 8月 「環境問題に直面し始めたトナー業界のゆくえ」
30. 2019年 8月 「事業の健全性が問われるトナー業界の将来性」
31. 2020年 7月 「事務機の中核を占めるトナー事業の将来性」
32. 2021年 6月 「働き方の多様化で変化が加速するトナー市場の最新動向」
33. 2022年 6月 「ハイブリッドワーク時代に於けるトナー市場の総合分析」
34. 2023年 6月 「環境配慮技術で生き残るトナー業界の将来性分析」

株式会社データ・サプライ刊行物案内／申込書

住所：〒110-0005 東京都台東区上野6-6-1 舶来堂ビル5F
 TEL：03(3831)9201、FAX：03(3831)9204
 E-mail：yamamoto@datasupply.jp、yoshida@datasupply.jp、hariu@datasupply.jp
 ホームページ：http://www.datasupply.jp/

- 以下の枠内にご記入いただき、下表のご希望の調査資料に希望部数、金額をご記入ください。最短で翌日（部数、地域による）に到着するように発送いたします。
- 申込はメール、FAX、郵送のいずれでも可能です。申込と同時に現物と請求書を発送させていただきます。尚、発刊日前の申込につきましては、申込時に半金の請求をし、発刊日に残金（現物とも）の請求をさせていただきます。

申し込み日 2024年 月 日

御社名

御住所 〒

御電話番号

御担当部署

御担当者

※セット価格は日本語版+英語版

	①日本語版		②英語版		セット ①+②	部数	金額
	価格 (税別)	刊行日	価格 (税別)	刊行日	価格 (税別)		
《 定期刊行物 》							
* 「月刊電子写真総合情報」 一電子写真に関する総合的なレポート (1986年～) 年間1,200～1,300頁	年会費：¥700,000 (PDF版) 月会費：¥60,000 (PDF版)	毎月 20日	\$7,000 (PDF版) \$600 (PDF版)	毎月末	¥800,000		
i4inkjet [Directions] (年6回発行、年300頁～) ※インクジェット関連の特許技術レポート	—	—	¥550,000 ～ (PDF版)	2021年 7/27～			
《 2024年刊行予定物 》							
* 2024年版[感光体マーケット総覧] (263頁) 『業界変革・再編時代における感光体市場の総合分析』	¥500,000 (PDF版)	2/26	\$5,200 (PDF版)	4/15	¥700,000	日 英	
* 2024年版[ローラー系部品マーケット総覧] (372頁) 『市場成熟に向き合う部品業界の最新動向』	¥400,000 (PDF版)	4/25	\$5,000 (PDF版)	6/7 予定	¥700,000	日 英	
* 2024年版[トナーマーケット総覧] 『業界再編に向けて動き出すトナー業界の総合分析』	¥600,000 (PDF版)	6/27 予定	\$6,000 (PDF版)	7/下 予定	¥700,000	日 英	
《 2023年刊行物 》							
* 2023年版[感光体マーケット総覧] (272頁) 『変化の時代に真価が問われる感光体市場の総合分析』	¥500,000 (PDF版)	2/22	\$5,200 (PDF版)	4/21	¥700,000	日 英	
* 2023年版[ローラー系部品マーケット総覧] (385頁) 『価格上昇時代に突入した部品業界の総合分析』	¥400,000 (PDF版)	4/25	\$5,000 (PDF版)	注文 対応		日 英	
* 2023年版[トナーマーケット総覧] (587頁) 『環境配慮技術で生き残るトナー業界の将来性分析』	¥600,000 (PDF版)	6/27	\$6,000 (PDF版)	7/28	¥700,000	日 英	
* 2023年版[中国市場(ハードウェア・消耗品)] (222頁) 『中国企業の台頭により競争が激化する中国市場の徹底分析』	¥300,000 (PDF版)	8/29	—	—			
* 2023年版[インクジェット印刷マーケット総覧] 『ものづくりのスマート化を切り拓く インクジェット業界の最新市場動向』 (389頁)	¥500,000 (PDF版)	10/27	\$5,000 (PDF版)	12/8	¥700,000	日 英	
* 2023年版[MFPマーケット総覧] 『変革期を迎えたプリンティング業界の将来性分析』 <標準版(メーカー別総合分析版)> (674頁) <標準版>+<長期予測特別版> (753頁)	¥600,000/ ¥700,000 (PDF版)	標準版： 12/22 長期予測 特別版： 12/26	—	—			
《 その他の刊行物 》							
* 2020年版[MIFマーケット総覧] (501頁) 『オフィス向け電子写真製品の設置台数とトナー量に関する長期予測』	¥400,000	2020年 9/28	\$4,000 (PDF版)	2020年 12/23		日 英	
* 2020年版[緊急レポート (コロナショックと業界大規模再編)] (240頁) 『業界再編とコロナショックに揺れる 事務機業界の地域別メーカー別分析』	¥300,000	2020年 4/24	\$3,000 (PDF版)	2020年 6/19		日 英	
* 2014年版[企業便覧シリーズ] (128頁) 『中国の機能性部品ローカル企業100社便覧』	¥150,000	2014年 9/29	\$1,500 (PDF版)	2014年 10/31		日 英	